コケはなぜに美しい ⑵

A コケが景観をつくっている日本庭園。一見してコケが多そうだが、ではどのくらいの種が生えているのだろうか。庭園の規模などによって多少の差はあるが、大きな庭園では100種以上のコケがみられることも少なくない。①<u>一体なぜ、このように多くのコケが庭に生えているのだろうか</u>。その秘密は庭のデザインと管理にある。

B 庭園では、大自然の風景をミニチュアで表現するデザイン技法、「縮景」が好んで用いられる。例えば、大きな石を置いて山を表したり、池をつくって海を表したりするなどして、庭をキャンバスにして大自然を表す。そのため小さな空間であっても、庭はさまざまに環境（かんきょう）が変化する。

C これらは人間にとっては些細（ささい）な変化であっても、小さなコケにとっては分布を決定するほどの要因にもなりうる。例えば、庭園の小さな※築山（つきやま）は、コケにとっては大きな丘（おか）にみえるはずだ。丘の上では生えることはできても下では生育できないことや、その逆もあるだろう。庭園のデザインによってつくられた多様な環境が、コケの豊かさにつながっているのだ。

D さらに、庭園ではその景観を維持（いじ）するため、草むしりや落ち葉かきなど、きめ細やかな管理がなされている。こうした管理は雑草や落ち葉によってコケが覆（おお）い隠（かく）されてしまうことを防ぎ、コケの維持に貢献（こうけん）している。庭のコケの美しさの裏には、日々の②<u>たゆまぬ管理</u>があるのだ。

E 庭園デザインと日々の細やかな管理の恩恵（おんけい）をうけ、多様なコケが生える庭園。深い緑からくすんだ緑、黄緑、赤みがかった緑……。さまざまな緑が織りなすコケのじゅうたんは繊細（せんさい）で、美しい。

（大石善隆『コケはなぜに美しい』ＮＨＫ出版 による）

※築山…庭園などで、山に見立て石や土を盛ってつくったもの。

確認テスト

本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) ——線①「一体なぜ、このように多くのコケが庭に生えているのだろうか」とあるが、この答えに当たるものを二つ選びなさい。

ア 庭園は大きな石を置いたり池をつくったりすることで大自然を表現しており、人によるデザインを避(さ)けているから。

イ 縮景のデザインによって庭園には多様な環境があり、それぞれの環境に合わせてさまざまなコケが分布するから。

ウ 草むしりや落ち葉かきなどのきめ細やかな管理がされており、コケが庭園に生えづらい環境が維持されているから。

エ 庭園の管理によってコケの生育を妨(さまた)げるものが取り除かれ、さまざまなコケが生える環境が保たれているから。

［　　・　　］

(2) ——線②「たゆまぬ管理」の意味を選びなさい。

ア 多種多様で、さまざまな管理。

イ 意図しない、思わぬ結果となる管理。

ウ おこたらず、とだえることのない管理。

［　　］

(3) 本文中の**A**〜**E**の段落について、正しく述べたものを選びなさい。

ア **A**で示された内容に対して、**B**と**C**では「庭のデザイン」について、**D**では「庭の管理」について、説明している。

イ **A**では「庭のデザイン」について、**B**〜**E**では「庭の管理」について、問いかけをまじえながら説明している。

ウ **B**では「コケの多様さ」について説明しているのに対し、**C**以降は話題が変わり、「日本庭園」について説明している。

［　　］